

まちの地域資源の紹介

松前町

まつまえちょう

- ◎面積／293.25平方キロメートル
- ◎人口&世帯数／7,539人・4,147世帯(2017年12月時点)
- ◎アクセス／北海道新幹線が開通後、本州とのアクセスが充実。
北海道新幹線木古内駅から車で約1時間、
函館空港から車で約2時間30分。



▲松前城と夫婦桜



松前町

文化の香り漂う、日本最北の城下町

北海道の最南端、津軽海峡西口に位置する道内唯一の城下町で、北の小京都と呼ばれています。年間平均気温が高く、温暖な気候で積雪量も少ない。風光明媚な海岸線が多く、遠くに離島小島、大島が見える自然豊かな町です。また、町出身の書家「金子鷗亭」生誕100周年を機に、全国ではじめて国語とは別に小学校、中学校、高校で書道の授業を行っています。



▲離島小島の夕日



▲松前藩屋敷

(1) 江戸の街並みを再現したテーマパーク松前藩屋敷

栄華を誇った城下町の街並みを再現し、武家屋敷など14棟が軒を連ね、施設内では甲冑の着付けなどの体験ができます。藩屋敷に併設してカントリパーク「日本庭園」もあります。

(2) 天然記念物の松前小島と

渡島大島オオミズナギドリ繁殖地

小島は、宝の島と呼ばれ、周辺はコンブ、ホッケ、まぐろなどの好漁場で、サザエは生息の北限です。大島のオオミズナギドリは、繁殖地が少なく、全国5か所指定の内、道内唯一の指定地となっています。

(3) 文化の香り漂う書のまちづくり

児童生徒書初め席書大会や道内外の高校書道部等が参加する書道パフォーマンス、一般書道講座や小中高合同の書道合宿、書道塾などを開催し、「書を愛する心」を地域と共に育てています。

まちの地域資源の活用方法例



北海道遺産福山(松前)城と寺町(平成13年選定)

現在の松前城は、昭和35年に再建された城であるが、本丸御門は国指定重要文化財です。城の北側には、国指定重要文化財である龍雲院をはじめとする古刹が集まる寺町が広がっています。



250種類1万本の桜

松前公園は、「さくら名所100選」に選ばれており、早咲き、中咲き、遅咲きと約1か月桜を楽しむことができます。特に三大名木の「血脈桜」、「蝦夷霞桜」、「夫婦桜」は、必見の価値あるすばらしい桜です。



渡り鳥のサンクチュアリ白神岬

白神岬周辺では、国内の野鳥約600種のうち300種以上が観察され、日本屈指の渡り鳥の休憩地になっています。美しい海岸景勝と野生鳥獣の生息地である白神岬は新たなサンクチュアリとして注目されています。



松前本まぐろなど豊富な水産物

まぐろは、青森県大間産と同じく津軽海峡で漁獲され、船上活メ、滅菌海水氷で処理する高鮮度が自慢の美味しいまぐろです。四季を通してヤリイカ、アワビ、ウニ、岩海苔など多くの漁獲があり、また、「スルメ」加工の一大産地で、隣町とあわせ全国の80%を生産しています。